

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
JAPANサッカー カレッジ	平成14年1月9日	小出 隆一	〒957-0103 北蒲原郡聖籠町大字網代浜925番地2 (電話) 0254 (32) 5357			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 国際総合 学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8065 新潟市中央区東掘通一番町494番地3 (電話) 025 (210) 8565			
目 的	特定非営利活動法人 日本SAQ協会と連携し、指導者としての実践的な知識・トレーニング手法を 獲得し、日本SAQ協会レベル1インストラクターの資格を取得する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
スポーツ	文化・教養 専門課程	トレーナー専攻 科	3年(昼間)	3104時間	平成17年文部科学 省告示第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1103時間	0単位	0時間	4404時間	541時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
75人	16人	2人	2人	4人		
学期制度	■前期：4月12日から8月21日まで ■後期：8月23日から3月31日まで	成績評価	■成績表(有) ■A(優) B(良) C(可) D(不可) H(保留)			
長期休み	■夏季：8月1日から8月24日 ■冬季：12月12日から1月16日まで	卒業・進級条件	■要出席時間数80%以上出席 ■必要科目単位を全て取得 ■学費に未納がないこと			
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者との連携	課外活動	■課外活動の種類 校外清掃(海岸清掃等) ■サークル活動(無)			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率 <sup>*1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 62% ■その他(任意)進学38%  (平成27年度卒業者に関する平成28年3月末時点 の情報)	主な資格・検定	■日本SAQ協会レベル1インストラクター ■日本サッカー協会C級コーチ(選択) ■赤十字救急法救急員			

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 9.5%</p> <p>平成27年4月1日在学者 21名（平成27年4月1日入学者含む） 平成28年3月31日在学者 19名（平成28年3月31日卒業生含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 個人面談・保護者との連携・スクールカウンセラーの活用</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.cupsnet.com/trainer.html">http://www.cupsnet.com/trainer.html</a></p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

日本SAQ協会インストラクターから直接指導を受けることで、JAPANサッカーカレッジ トレーナー専攻科在籍学生の内外実習等の様々な現場でおこなうトレーナー活動の幅と質を向上させる。また、卒業後の就職として、全国のサッカー業界（スポーツ業界）に優れたトレーナーを輩出することを目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
神田 勝夫	新潟県下越地区サッカー協会理事
井場 正知	特定非営利活動法人日本SAQ協会インストラクター
小出 隆一	JAPANサッカーカレッジ学校長
刀根 聡	JAPANサッカーカレッジ副校長
原 朋洋	JAPANサッカーカレッジ教務部長
森 俊輔	JAPANサッカーカレッジ事務局長
小澤 江里子	JAPANサッカーカレッジ学科主任

(開催日時)

第1回 平成28年2月10日 17:00~18:00

第2回 平成28年9月7日 17:00~18:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実習においては学校内部における実習にとどまらず、より実践的な現場での指導法を学ぶために外部企業との連携を重視し、より実践的な知識と最新のトレーニング手法を習得し、卒業後に即戦力となるトレーナーを輩出する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
日本SAQ協会レベル1 インストラクター	日本SAQ協会レベル1 インストラクターの資格 取得を目指す。	特定非営利活動法人 日本SAQ協会

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員自身の指導能力向上を目的とするとともに講習会内容を授業や実習、日頃の指導の中で活用する。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月30日現在

名 前	所 属
神田 勝夫	新潟県下越地区サッカー協会理事
岡田 朝彦	株式会社アルビレックス新潟育成統括部長
小出 隆一	JAPANサッカーカレッジ校長
刀根 聡	JAPANサッカーカレッジ副校長
原 朋洋	JAPANサッカーカレッジ教務部長
森 俊輔	JAPANサッカーカレッジ事務局長
須崎 政幸	JAPANサッカーカレッジコーチ・審判専攻科/サッカーコーチ研究科主任
竹川 昌彦	JAPANサッカーカレッジサッカービジネス科主任
小澤 江里子	JAPANサッカーカレッジトレーナー専攻科主任

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.cupsnet.com/pdf/02.pdf>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.cupsnet.com/pdf/05.pdf>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トレーナー専攻科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			英会話Ⅰ	テキストの内容に即しながら行う各講義で、それぞれの内容を理解しながら、年間を通じて学生が英語で会話することを旨とする。	1通	32		○		
○			英会話Ⅱ	テキストの内容に即しながら行う各講義で、それぞれの内容を理解しながら、年間を通じて学生が英語で会話することを旨とする。	2通	32		○		
○			英会話Ⅲ	テキストの内容に即しながら行う各講義で、それぞれの内容を理解しながら、年間を通じて学生が英語で会話することを旨とする。	3通	25		○		
○			コミュニケーションスキル	自己紹介や挨拶等を通じ、コミュニケーションの大切さを知るとともに、基礎的なコミュニケーションスキルを習得する。	1通	32		○		
○			就職実務	自己分析を中心に、就職とは何かを考えさせ、就職に対する動機づけを行う。就職活動のマナーを知り、面接対策等を実施し、就職活動への準備を目的とする。	2通	32		○		
○			プレゼンテーション	テーマについて情報収集し、自身の意見を論理的に伝える技術を獲得する。Power Point を使用しプレゼンテーションする。	3通	25		○		
○			ホームルーム	学科ホームルームの時間を利用し、学生自身が活動内容を報告・発表する。また、他の学生の活動状況を知ることによって、自分自身の今後の活動に活かす。	1～3通	89		○		
○			企業研究	様々な業種の中から選定された業種(企業)についてグループで研究し、発表する。卒業後の就職を見据えてできる限りの情報を収集する。	3通	231		○		
○			機能解剖学	身体組織である骨や筋肉、靭帯等の構造および機能を理解し、身体動作への理解につなげていくことを目的とする。	1通	32		○		

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トレーナー専攻科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			スポーツ生理学	運動によってからだにどのような変化が生ずるのか、その現象と仕組みを研究する学問である。スポーツトレーナーとして必要な基礎的な知識を身に付けることを目標とする。	1通	32		○		
○			スポーツ科学	指導者としてスポーツトレーニングの基礎を学び、その知識を実際に指導する際に活かすことを目的とする	2通	32		○		
○			栄養学	基礎的なスポーツ栄養の知識を取得し、コンディションや状況に合わせた食事について自ら考え・選択・実践・指導できるようになる。	1通	32		○		
○			測定評価	測定の目的・種類・内容・実践について理解し、実習の際に活用する。またどのようにプログラミングし評価するかを学ぶ。	1通	32		○		
○			スポーツトレーニング論Ⅰ	JATI-A TIの資格取得を目指す上で、基本的な知識・技能を習得する。	1通	64		○		
○			スポーツトレーニング論Ⅱ	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだことから、さらに発展させ応用し、JATI-A TIの資格を取得する。	2通	64		○		
○			コーチング総論	コーチングに必要な知識を学ぶとともに、コーチとは何かを考え、コーチングの方法を学び、実習で活用する。	2通	32		○		
○			スポーツマネジメント概論	様々なスポーツイベント・大会運営の実例を参考にしながら、スポーツをより身近に感じてもらうためにどのような取り組みが必要と考えられるかを学ぶ。	3通	25		○		
○			救急法	AEDの使用法や、応急処置の方法を学ぶとともに、日本赤十字社認定赤十字救急法救急員の資格を取得する。	1通	32		○		

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トレーナー専攻科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			サッカー実技	サッカーをプレーすることで競技ルールを学ぶとともに、選手の視点から見えるチーム運営等を学ぶ。	1～3通	89			○	
		○	指導実践	日本サッカー協会公認C級コーチの資格取得を目指す。	3通	64			○	
○			テーピング	サッカー指導者として指導にあたる場において活用できる、テーピングやアイシングの技術と知識を学ぶ。	1通	64			○	
○			コンディショニングテクニックⅠ	一年間を通してストレッチの種類・使い分け・実践・指導ができるように知識と・技能を習得する。	1通	64			○	
○			コンディショニングテクニックⅡ	コンディショニングテクニックⅠで学んだことを活用しながら、スポーツマッサージとリンパマッサージを習得する。	2通	64			○	
○			コンディショニングテクニックⅢ	コンディショニングテクニックⅠ・Ⅱで学んだことを活用しながら、身体のリラクゼーションテクニックの理解および実践しテクニックを習得する。	3通	50			○	
○			トレーニング実技Ⅰ	バーベル・ダンベル・ウェイトマシンなどを使い、ウェイトトレーニングの理論・実技を習得し、目的に応じたプログラムの作成。	1通	32			○	
○			トレーニング実技Ⅱ	様々なトレーニング法を学び、理解・実践した上で実習に活用していく。	2通	32			○	
○			トレーニング実技Ⅲ	フィジカルトレーニングについて理解・実践した上で実習に活用していく。	3通	25			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トレーナー専攻科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			トレーニング特講Ⅰ	スポーツにおける現場体験から生じた課題の 見つけ方、指導法などを学ぶ。	2 通	32				○
○			トレーニング特講Ⅱ	トレーニング特講Ⅰで学んだことを活用し つつ、現在所属する内部実習での課題につ いてディスカッション形式で進める。	3 通	25				○
○			機能評価	部位別に傷害の評価を行っていき、現場で 必要とされる理論と実践をおこなう。	1 通	32		○		
○			アスレティックリハビリテーション	アスレティックリハビリテーションの概念 の理解とプログラムの理解をする。	2 通	32		○		
○			運動処方	健康な一般人やリスクのある人たちへ対し て、病気や怪我の予防とリハビリテーショ ンの運動プログラム作成について理解し、 適切な運動処方を実施する。	3 通	25		○		
○			卒業研究	各自テーマを決め、その分野について探求 し、プレゼンテーションをする。	3 通	25		○		
○			アスレティックトレーナー概論	アスレティックトレーナーの果たすべき役 割、業務を理解する。	1 通	32		○		
○			実習ディスカッション	それぞれの現場実習における課題・評価に ついて発表し、ディスカッションをおこな い、その後の実習に活用する。	3 通	25		○		
○			ゼミ	卒業研究ともリンクさせながら各テーマに おいて研究し発表、ディスカッションを行 う。	3 通	25		○		

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トレーナー専攻科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			日本SAQ協会レベル1インストラクター講座	日本SAQ協会より講師を招聘し、レベル1インストラクターの資格取得を目指すとともに、学んだことを今後のトレーナー実習に活かす。	1通	64			○	
○			スポーツ外傷・障害	スポーツ傷害について正しい理解を持ち、それらへの評価・処置を適切に実施できる。	1通	32		○		
○			現場実習	アルビレックス新潟下部組織のほか、JAPANサッカーカレッジ内部実習も含めトレーナー活動を行う。	1～3通	1460			○	
	○		企業体験実習(トレーナー実技)	アルビレックス新潟のほか、接骨院、整骨院、カイロプラクティックなどの様々な企業から選択し、体験実習(トレーナー実技)を行う。	1～3通	2880			○	
合計					40 科目		6048 時間			